

第 40 回日本食品微生物学会学術総会 / イルミナ株式会社
ランチョンセミナー

日時：2019 年 11 月 28 日（木）11：50～12：50
会場：D 会場（タワーホール船堀 2 階 平安）

食品安全分野における 次世代シーケンスの活用事例

演者：片瀬 満 先生

不二製油株式会社 技術開発・生産管理部門 品質保証部
食品安全管理グループ

食品安全分野で使用される 次世代シーケンスの紹介と海外での事例

演者：小林 孝史 イルミナ株式会社 営業本部技術営業部

< ご注意 >

本大会のランチョンセミナーをご聴講いただくには整理券が必要になります、
当日の朝 8 時 45 分より、5F 総合受付付近で配布いたします。
整理券はおひとり様一枚限り、開催当日分のみとなり、セミナー開始次第無効となります。

■ セミナーに関するお問い合わせ先 contactJPN@illumina.com

演題：食品安全分野における次世代シークエンサーの活用事例

演者：片瀬 満 先生（不二製油株式会社 技術開発・生産管理部門）

ご講演要旨：

DNA シークエンス技術は近年劇的に進化し、特に次世代シークエンス（NGS）とよばれる一連の技術は既に実用的に使われている。

全ゲノムシークエンス（WGS）やメタゲノム解析などが食品衛生の分野で活用されているが、その一方で食品企業の検査の現場で広く活用されるには至っていない。

本セミナーでは NGS 技術を食品産業分野で活用するため産官学共同で取り組まれた総説文書の内容を含め、食品安全分野における企業の NGS 活用事例について紹介する。

演題：食品安全分野で使用される次世代シーケンサーの紹介と海外での事例

演者：小林 孝史（イルミナ株式会社 営業本部技術営業部）

ご講演要旨：

FDA や CDC といったアメリカの政府機関では 2012 年頃より病原体のサーベイランス用途で次世代シーケンサーを使用し始め、2018 年末には全州での整備が完了した。一方、民間の食品会社においてもリコール品のチェックや製造工場の追跡調査などで次世代シーケンサーを使用する事例が出てきつつある。本発表では、次世代シーケンサーのメーカーの立場から海外での事例を中心に紹介しつつ次世代シーケンサーのラインナップの紹介まで行う。